



HAPPY NEW YEAR 2025

2025年
新年号

令和7年1月1日発行 NO.44
元気おおとよ新聞

大豊町の皆様におかれましては、新春を清々しい気持ちでお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年の「れいほくお山の手づくり市」では、天候不良により直前の会場変更や出店者減少にもかかわらず、たくさんの地域の方々にご来場いただき、大盛況に終わりました。またエコマーケットや空き家マッチングツアーなど新しい取り組みやイベントにおきましても、多くの方々にお力添えいただき誠にありがとうございました。

近年、物価の高騰や自然災害の頻発など、私たちの生活を脅かす事案が増えておりますが、地域のつながりや自給力、自然との共存力など「生きる力」が豊かな大豊の暮らしのすばらしさを、あらためて実感しております。大切なのは人と人とのつながり・世代を超えたコミュニケーションだと信じ、今後も皆様とともに「明るく元気な大豊町」を目指して、スタッフ一同活動が続けていきたいと思っております。

また、任期満了に伴い、当団体の理事長が下村守正から、わたくし前多由美子（まえだゆみこ）に交代したことを、この場を借りてお知らせ致します。若輩者ですが、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

本年が皆様にとって幸多い年でありますよう、心からお祈り申し上げます。

理事長 前多由美子

新年

あけまして

おめでとうございます。

第2回 空き家マッチングツアー 3/2（日）開催決定！

空き家を探している方、空き家を処分したい・活用したい方を大募集中です。お気軽にお問い合わせください。



移住者紹介

おかもとゆうた

岡本裕太さん

今回の移住者紹介は昨年（2024年）の10月に地域おこし協力隊（以下、協力隊）の任期満了で卒業し、大豊町に定住をした岡本裕太（ゆうた）さん。協力隊の活動のことや卒業し定住した感想をインタビューしました！

大豊町へ来たきっかけを教えてください！

協力隊のジビエ関係の募集があったので、まず大豊町へ応募しました。いろいろジビエ関係の募集を探したのですが、当時は大豊町しかなく。応募して、選考などがあり、大豊町の協力隊として、採用されて良かったです。大豊町には応募前に一度来たのですが、想像より山だなあ。と感じたことを覚えています。

ジビエの仕事をしたいと感じたきっかけは何かあるのでしょうか？

電気や水道、ガスに頼らないオフグリッドな生活に憧れがあったんです。「今は、お金などがあれば何でも買えますけど、猟師をしていたらお金の価値が下がったり、お金が無くなった時でも生きていけるんだなあ」と思うようになりました。そのことがきっかけで、ジビエの仕事をしたいと、猟師の仕事に興味がありました。

地域おこし協力隊の生活はどうでしたか？

地域おこし協力隊の時は、「猪鹿工房おおとよ」でお仕事をしました。来る前は、「職人肌で、見て覚えろ」とかそういったイメージでした。しかし、北窪さんは丁寧に教えてくれるタイプの方で、協力隊になってとても良かったです。また、一緒に仕事をしていると、プロ意識をもってお仕事をされているのがとても感じられました。仕事を一緒にしていくうちに、「これからも北窪さんとお仕事を一緒にしたい」とか「ここに住み続けたい」という感情が生まれ、2年目から定住を意識するようになりました。

卒業後の現在はどのようなことをされているのですか？

毎日のように猟師として罠をかけて、イノシシやシカなどが捕まったら、解体する日々を過ごしています。協力隊の途中から行っていたアクセサリーやジャーキーを作り販売することも、続けています。卒業後は、大豊町の集落支援隊として、週一程、地域の方から悩みの種になっている鳥獣被害のサルを駆除作業もしています。もっと若い人と一緒にチームになって仕事ができたと思うようになりました。



移住していろいろ始めたことがあると聞いたのですが？

まず、移住してDIYにハマりました。高須の集落の裏に住んでいるのですが、最初はちょっとやろうと始めたのですが、気づいたらいろいろ行っていました。業者などに頼んだら、高いのですが、自分で行うとイメージ通りに完成してとても楽しいです。最初のころは、失敗ばかりでしたけど、何回かしているうちに綺麗にできるようになりました。都会に住んでいたら、こんな体験をする時間も場所もないので、本当に大豊町に住んで良かったです！

今後、大豊町でやりたいことはありますか？

現在行っているジビエをもっとやってみたいと考えています。今もやっていますが、鹿の角で作ったアクセサリーやペットフードなどをもっと行い、多くの商品を販売していきたいです！また、DIYとか物を作ることも好きなので、自分で家を作るのもいいなあと思っています。協力隊期間中は役場や地域の方に、いろいろなことをお世話になったので、町民の方の役に立つこともしたいです！

以上、地域おこし協力隊を卒業して、定住をした岡本裕太さんでした。よく「郷に入れば郷に従え」といいますが、岡本さんの仕事に対する丁寧な姿勢や人柄の良さも定住につながったのだとインタビューを通して感じました。地域おこし協力隊を卒業して、自分で生計を立てることへの苦労も増えていると思いますが、町内で見かけたら声をかけてあげてください。地域の人も応援することで、協力隊の卒業後の定住につながるのだと改めて知ることができるインタビューでした。（岩本）



そば物語 ～そば打ち教室編～

自分でそばを打ってみませんか？そばはそのままお持ち帰りできます。みなさまのご参加お待ちしております！

◎日 時 2025年2月1日（土）
10時～13時
◎場 所 ふれあいセンター3F調理場
◎定 員 10名
◎参加費 大人：2000円
高校生以下：1000円

参加希望の方は、なかひら（090-6659-9234）までお電話ください。

お問い合わせ

080-8635-2253

〒789-0250

大豊町黒石363-5大田口テラス1F
<http://www.genki-otoyo.org/>

特定非営利活動法人 元気おおとよ

元気おおとよは、大豊を元気にする民間団体です。
移住支援／地域交流／集落維持などに取り組んでいます。